



中国 M2M 市场通信

Volume 4 No.5

2015年5月



キャセイ・トライテック株式会社

CATHAY TRI-TECH, INC.

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-5 新横浜ユニオンビルANNEX 7F
TEL: 045-476-5170(代) FAX: 045-476-5171
URL: www.cathay.jp



中国 M2M 市場通信 '15.05 月

【目次】

産業研究

- [工信部、ソフトウェア強国を目指す 6 重点項目を示す](#)

業界利用

- [Huawei、物聯網向け OS“Liteos”を発表](#)

モバイルモノのインターネット

- [中国移动、二つの物聯網プラットフォームを発表](#)
- [中国 3 キャリア、物聯網サービスの現状](#)

スマート都市

- [無錫、アジアの IEEE スマートシティパイロット計画都市となる](#)

業界動向

- [美的\(Midea\)と蘇寧\(Suning\)、物聯網スマート空調で提携](#)

新製品

- [サムスン、物聯網チップセット“Artik”を発表](#)

展示会速報

- [第五回中国スマートシティ技術と応用製品博覧会](#)



ウェアパーク”として認定しており、これら重点地域におけるパイロットモデルより、ソフトウェア及び情報サービスなどの戦略産業の発展を加速する。

産業分布の最適化

ソフトウェア産業を発展させるため、コア都市と二三級都市が連携してソフトウェア産業を積極的に育成することも重要である。地方ソフトウェア産業の育成を推進し、産業連盟と産業コミュニティの構築を強化した上で、“インターネット+産業”と“インターネット+応用”のエコシステムを構築する。

2014年、中国のソフトウェア及び情報技術サービスにおける販売高は3.7兆元となった。今年4月までの同販売高は1.2兆元となっており、本年度は4兆元を突破する可能性が高い。現時点で重要なことは、中国をソフトウェア大国からソフトウェア強国へ進化させることである。

業界利用

■ Huawei、物聯網向け OS“Liteos”を発表

5月20日に開催された2015Huawei ネットワーク大会で、Huawei社は物聯網向け“敏捷ネットワーク3.0”ソリューションを発表した。その敏捷ネットワークソリューションは、物聯網向けの OS“Liteos”、敏捷ネットワークゲートウェイ、敏捷コントローラの三つの要素からなっている。



“Liteos”の容量は10KBしかなく、スマートファミリ、Wearable デバイス、車聯網、工業などの分野で活用できる。また、“Liteos”はオープンソースでもある。

Huaweiの予想では、物聯網設備数は2025年に1,000億台になるとのこと。

モバイルモノのインターネット

■ 中国移動、二つの物聯網プラットフォームを発表

CES Asia 展示会で、中国移動は法人顧客向け“物聯網専用ネットワークサービス管理プラットフォーム”と“OneNet 設備クラウドプラットフォーム”を発表した。

今回発表された二つのプラットフォームは、既存の物聯網専用ネットワーク及び OneNet オープンプラットフォームをアップグレードしたものである。物聯網専用 SIM カードは既に金融、Wearable デバイス、車聯網などの業界で実稼働状態に入っている。



“物聯網専用ネットワークサービス管理プラットフォーム”は法人顧客に対し、より豊富なメニューや多元ネットワーク化、そして個性的な通信管理ツールとなっている。現在、約 500 万台の端末をリアルタイムに管理している。“OneNet 設備クラウドプラットフォーム”は物聯網企業に対し、多様な接続プロトコルを提供し、あらゆるスマートデバイスが簡単に接続でき、アプリとの接続も実現できる。

車聯網のソリューションでは、一般的に 50ms 以下のネットワークディレイを要求しており、まれに 10ms また 3ms 以下の場合もある。既存ネットワークでは、その要求に対応できない。それに対し、中国移動の物聯網専用ネットワークは安定性、ディレイの両面に対応できるとのこと。

ターゲット業界に標準プロトコルが存在する場合、OneNet プラットフォームはそのプロトコルに適応します。標準プロトコルが存在していない場合、例えば Wearable デバイスなどの新規分野においては、中国移動は軽い省エネの“拡張版端末プロトコル”を推奨し、出来るだけ同一プロトコルメンバーにするとのこと。

■ 中国 3 キャリア、物聯網サービスの現状

中国移動

最初に物聯網サービスを始めた中国移動は、2012 年重慶で全額出資子会社“中移物聯網有限公司”を設立し、物聯網専用ネットワークと専用プラットフォームを構築している。現在、中国移動は通信チャンネル、各種デバイス、アプリの三サービスを提供し、重点分野として電力、交通物流、セキュリティ及び行政をターゲットとしている。

中国移動の物聯網ユーザ数は既に 3,200 万を超え、約 40 社のモジュール、端末、業界応用ベンダーは中国移動の M2M テスト認証に合格し、パートナーとなっている。

中国電信

中国電信は 2010 年に物聯網運営サポートプラットフォームを構築した。2014 年に無錫で物聯網分公司を設立し、市場に参入した。物聯網専用ネットワーク及び専用 SIM カードの展開に重点的に取り組んでいる。

現時点における中国電信の物聯網ユーザ数は、700 万を超えている。

中国聯通

2010 年、中国聯通は無錫で物聯網研究院を設立した。ターゲット業界は交通、物流、金融、環境保護、エネルギーなどで、現時点の物聯網ユーザ数は 800 万を超えている。



スマート都市

■ 無錫、アジアの IEEE スマートシティパイロット計画都市となる

5月18日、無錫国家センサーネットワーク革新模範区構築指導チーム、IEEE スマートシティパイロット計画委員会及び江南大学が共同主催した、“IEEE 無錫スマートシティパイロットキックオフ式典及び物聯網応用国際専門家諮問会”が江南大学で開催された。

IEEE スマートシティパイロット計画は 2012 年にスタートし、全世界で四つの都市を選んで、スマートシティ研究を行うプログラムとなっている。無錫はアジアで唯一選ばれた都市として、無錫物聯網産業の国際合作、無錫国家センサーネットワーク革新モデル区の構築、スマートシティとしての完成度向上に向け、貴重なチャンスとなる。

業界動向

■ 美的(Midea)と蘇寧(Suning)、物聯網スマート空調で提携

5月28日、美的空調と蘇寧は南京で戦略発表会を行い、物聯網スマート空調展開で提携することを発表した。

今年の夏に向け、美的と蘇寧は 50 万セットの物聯網スマート空調購買契約を締結した。2015 年末までに、美的製の物聯網スマート空調製品は蘇寧トータル販売台数の 30%を占め、今後 3 年間で 70%アップし、伝統空調は市場から退出すると見込んでいる。

スマート空調とは、スマホによる空調コントロールだけでなく、“物と物、物と人”間での接続、通信、了解を実現することを目指している。現在スマホによるコントロールは実現済みであるが、次は Wearable デバイスとの接続である。将来、人の体温などのデータを空調にフィードバックすれば、空調が自動的に適切な温度に調整する。

今後、蘇寧の APP による美的製品のコントロールだけでなく、“蘇寧クラウド”と“美的クラウド”も互いに通信でき、双方のビッグデータもシェアできるようになる。美的と蘇寧は各自の製品側及び販売側の優位性を発揮し、“オフラインで体験、オンラインで購入、設置・アフターサービス”というワンストップサービスを提供する。

新製品

■ サムスン、物聯網チップセット“Artik”を発表

物聯網世界大会で、サムスンは新世代の省エネチップセット“Artik”を発表した。モデル

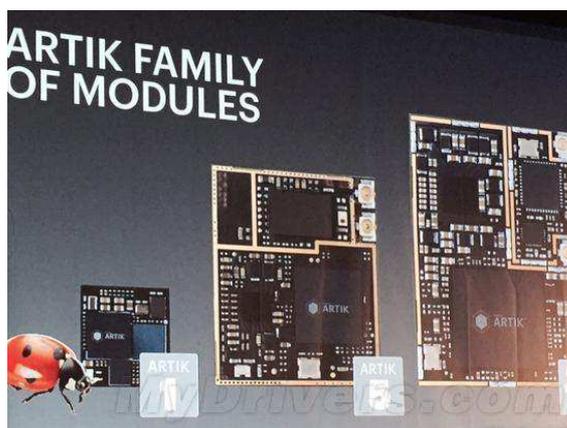
は Artik1、5、10 の三つがあり、処理能力、ストレージ及び無線通信機能でクラス分けされている。すべてのチップセットは暗号化システムを組み込み済みで、ハッカーからの攻撃を受けにくくなっているとのこと。

最も小さいサイズの Artik1 は、12×12mm で小型設備向けとなっている。250MHzと800MHzの Dual-coreCPU、1MB RAM、4MB のフラッシュメモリ及び9軸の加速度センサーを搭載し、BTにも対応している。

Artik5 のサイズは 29×25mm で、1GHz の ARM Dual-coreCPU、512MB RAM 及び 4GB eMMC フラッシュメモリを搭載している。Wi-Fi(802.11 b/g/n)、BT に対応し、H.264 のビデオ機能を持ち、TrustZone も提供している。

Artik10 は 29×39mm サイズで、1.3GHz の ARM Octa-coreCPU、2GB RAM 及び 16GB eMMC フラッシュメモリを搭載した。Wi-Fi (802.11 b/g/n)、BT に対応し、1080p 120fps のビデオをデコードでき、TrustZone も提供している。家庭用サーバやメディアセンターでの採用を見込む。

販売価格は、Artik1 は 10 ドル未満で、Artik10 は 100ドル以下とする。購買ボリュームにより最終価格を決める予定。



Artik は、すべてのサムスン製品に搭載していく予定であり、SmartThings 物聯網プラットフォームに接続する。2020 年までに、全てのサムスン製品はインターネット接続する予定。

展示会速報

■ 第五回中国スマートシティ技術と応用製品博覧会

会場: 寧波

会期: 2015 年 9 月 11 日～9 月 13 日

主催: 工信部、国家新聞出版広電総局、中国科学院、中国工程院、他

協賛: 中国航天科工集团公司、中国電子科技集团公司

出展内容: スマート通信、ネットワークセキュリティ、スマート工業ロボット、スマート交通、スマートヘルス、スマートファミリ、スマート教育、スマートエネルギーなど

URL: <http://www.admaimai.com/News/Detail/2/122545.htm>

- ご愛読ありがとうございました -